

新製品のご案内

携帯するプレゼンテーションツール（モバイル書画カメラ）

Visual Presenter **MO-1**

定価：49,350 円（税込）

[ビジュアルプレゼンター・エムオーワン]

2012年2月20日（月）発売

株式会社エルモ社（本社：名古屋市瑞穂区明前町6-14 代表取締役社長：竹内 清）は、平成24年2月20日（月）、学校での毎日の授業やビジネスプレゼンテーションなどに便利な書画カメラの新製品「Visual Presenter MO-1」を発売いたします。

Visual Presenter MO-1 は、外出先でのプレゼンテーションや Visual コミュニケーションをサポートするために携帯性を重視して開発された新コンセプト書画カメラです。

製品本体サイズは、縦 101mm×横 226mm×厚さ 28mm。A5 システム手帳を下回るサイズで、重量はわずか 550g。スーツの内ポケットやビジネストートバックにも収まる小型軽量設計です。

出張や外出先でのプレゼンテーションの多いビジネスマンやビジネスウーマンの方々、教室を移動して授業をされる中学校や大学の先生方などにお使いいただきたい書画カメラです。用途やシーン、好みでお選びいただけるようボディーカラーを3色ラインナップいたします。

**先生の便利な道具としての“書画カメラ”**

世界中で教育の ICT(*)化が進む近年、書画カメラを使うことで子供たちに「わかりやすい授業」を行えるという世界中の先生方からの多くのご支持により、学校における書画カメラの需要が高まっています。日本におきましても書画カメラは使いやすく効果的な ICT 機器として高い評価を受けており、小中学校の普通教室数の 30%弱（延べ 112 千台）まで普及、プロジェクタや電子黒板を凌ぐ導入台数となっています。

（文科省「学校における教育の情報化の実態調査」2011.8.31 公表より推計）。

エルモ社は書画カメラのグローバルリーディングカンパニーとして、これまで各国教育市場におけるエンドユーザーマーケティングを通じて製品の開発と普及に努めて参りました。今般、Visual Presenter MO-1 の発売により、世界中のより多くの先生方のニーズにお応えできるものと考えております。

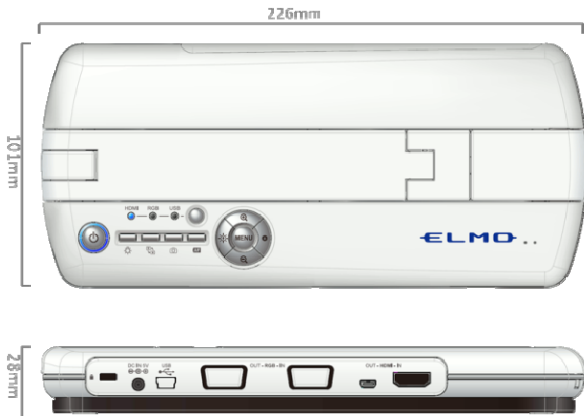
ビジネスプレゼンテーション機器としての“書画カメラ”

「書類や小さなモノ、手元の操作を大きく映し出す。」書画カメラのこのシンプルな機能性が、プレゼンテーションや会議の場においても内容の説得力と参加者の理解度を高めます。ローフォームでの契約書内容の検討、不具合小型部品の検証会議、各種タブレット端末やスマートフォンのデモンストレーション等々、書画カメラのプレゼンテーション機器としての用途は広がりを見せています。

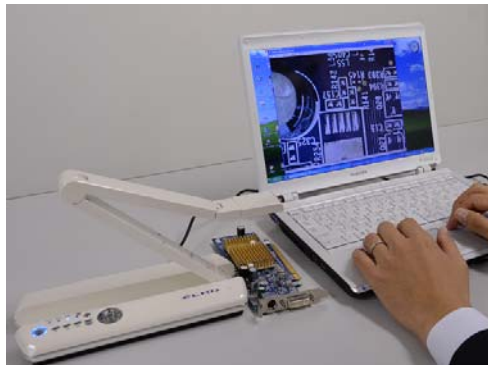
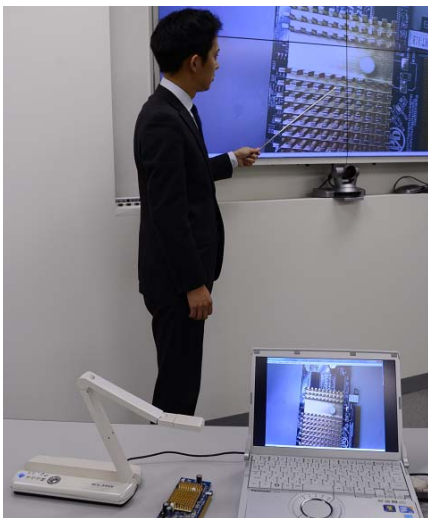
新コンセプト書画カメラ Visual Presenter MO-1 は、書画カメラ本来の機能性にモバイル性を加えることにより、活用を会議室のみならず顧客先や出張先でのプレゼンテーションへ広げます。また、パソコンとの接続により web ベースのビデオ会議用カメラとしての活用や手元の資料を簡単に撮影してパソコンに取り込むなど、場所を選ばずビジネスパーソン Visual コミュニケーションをサポートします。

Visual Presenter MO-1 の特長

- 折り畳みデザインの採用により、モバイル性と使いやすさを両立。
- 500万画素 CMOS センサ、8倍デジタルズームを搭載し、細部を鮮明に撮影可能。
- フルハイビジョン 1080i / 30fps 対応、HDMI 入出力端子を搭載。
- 可動式アームと回転カメラヘッドで、あらゆる角度からの安定した被写体撮影が可能。
- MO-1 で写した映像を SD カードへ静止画保存が可能。
- パソコンとの親和性強化
 - ～アプリケーションソフトウェア Image Mate をパソコンにインストールすれば、より多彩なプレゼンテーションや映像表現が可能になります。
 - ～マイク内蔵で高画質 Web カメラとして web 会議システムに使用可能。参加者の表情だけでなく、実物会議資料を高精細に写します。



出力端子:RGB Dsub 15P / マイクロ HDMI タイプD
入力端子:RGB Dsub 15P / 標準 HDMI タイプ A
USB :2.0 High Speed、Full Speed/VIDEO CLASS Ver1.1 準拠
端子 タイプ B(ミニ型)
SDカードスロット×1



↑ web ビデオ会議にて、参加者の顔や実物資料を映す ↑

← いつでもどこでも、実物によるプレゼンテーションが可能

【書画カメラ（実物投影機）とは】

書画カメラとは、書類や立体物をデジタルテレビやプロジェクタで投影するための映像入力機器（カメラ）で、ズーム付きレンズの搭載により映像の拡大縮小が自在にできます。教育市場では「実物投影機」「資料提示装置」とも呼ばれています。

近年、授業に便利で児童の理解度向上に役立つ、効果的な ICT（*）機器のひとつとして小・中学校への普及が進んでおります。文部科学省の新学習指導要領準拠「教育の情報化に関する手引」においても、「教科指導における ICT 活用—学校における ICT 環境整備」項目の中で、普通教室における ICT 環境の整備機器として実物投影機（書画カメラ）が明記されており、当該製品の情報教育への活用が推奨されています。

（*）ICT とは、Information（情報）& Communication（コミュニケーション）Technology（技術）の略語です。授業で活用する ICT 機器には、書画カメラの他、パソコン、プロジェクタ、電子黒板等があります。

* Visual Presenter, Image Mate, FOCUS ON THE FUTURE、ELMO ロゴは(株)エルモ社の登録商標または商標です。
その他の名称や製品名は各社の登録商標または商標です。
本プレスリリースの内容は発表日現在の情報です。予告なしに変更される可能性がある旨予めご了承ください。

この件に関するお問合せ先

株式会社 エルモ社 ICT マーケティング部

電話: 052-821-3141 FAX: 052-824-4400 住所: 名古屋市瑞穂区明前町 6-14

e-mail: ict@elmo.co.jp / homepage: <http://www.elmo.co.jp/>, <http://www.elmoglobal.com/>